



電子制御工学科5年 梶島 基嵩

奈良高専に入学する直前は入学から卒業するまでの5年間はとても長い期間のように思っていました。しかし、ふたを開けてみれば、課題レポートや委員会活動、課外活動などに追われる日々で、思っていたよりも短い5年間でした。けれども、その5年間は決して薄っぺらいものではなく、1年1年、非常に濃密で、ここに書くには、とても収まりきれないほどたくさんのお話を経験しました。

そんな高専生活で得たものといえば、実践的な「経験」であり、「技術力」だと思います。講義を受けて得た「知識」をもとに、実験や実習、課外活動などで、実際にその「知識」を使うことで得るこのとのできる「経験」はかけがいのないものだと思います。

特に、奈良高専でしか得ることのできなかったであろう経験といえば、学生チャレンジプロジェクトでの経験が挙げられます。学生チャレンジプロジェクトでは、グループで実際に企画からスケジューリングなどを行い、その上で、1つのモノを作り上げるという、授業ではあまり習わないような非常に実践的な内容について学ぶことができました。このような経験ができたのも校長先生を



5Sクラスメイト達

はじめ、担当の教職員、指導教員を務めてくださった先生方のおかげです。ありがとうございました。

最後になりましたが、5年間ご指導くださいました先生方、技術指導職員・事務職員の皆様、さらに、苦楽を共にしたクラスメイトには様々なことでお世話になりました。本当にありがとうございました。



5Sクラスメイト達

電子制御工学科5年学級担任 島岡 三義

卒業おめでとうございます。新カリキュラムの1期生である諸君には大きな期待が寄せられました。入学当初は大変ユニークなクラスだと思いましたが、その後はお互いに苦労したようにも思います。今は皆さんが立派な大人に成長し、もう卒業するのかなと思うと、月日の経つ早さと寂しさを感じます。グローバル社会と言われて久しいですが、皆さんの活躍の場は地理的にも、仕事や学問分野においても無限にあります。皆さん一人一人の活躍の様子が聞こえてくれば幸いに思います。1年間、担任に付き合ってくれたことに感謝致します。



情報工学科5年 中嶋 達也

奈良高専に入学して早いもので、あっという間に5年の月日が経ちました。入学した頃の私達は、これからの高専生活に向け、希望や不安でいっぱい表情でした。それから今日までの5年間、勉学に励んだり、部活動や課外活動に一生懸命励んだり、放課後にはカードゲームの対戦をしたり、アニメやゲームにのめり込んだりと、真面目に楽しく、面白おかしく過ごしてきました。私が所属していた情報工学科は、個性溢れるユーモアのある学生が大変多く、口ではうまく言い表せないことも多くありました。しかし、学年が上がるにつれて専門科目の実習やレポートの提出期限に追われ

る日々が増えてくると、分からない問題は友人達と知恵を出し合って解決し、何度も協力して乗り切ってきました。

私たちは、更に勉学に励むために進学する者、世の中で活躍するために自立して社会人になる者など、これからはお互い離れてそれぞれ違う道を歩むことになります。しかし、共に奈良高専で過ごした5年間で培ったこと、そして学んだことは人生の宝になると思います。この宝である経験を活かし、これから先、立ちちはだかる幾多の困難にも、立ち向かっていけることと思います。

最後になりますが、私たちをここまで育ててくれた両親、そして勉学や研究などに躓いたときや課外活動等で、お世話になった先生や友人達に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



5Iクラスメイト達

情報工学科5年学級担任 松村 寿枝

皆さん、卒業おめでとうございます。

思い起こせば、入学式で緊張した面持ちの皆さんと担任初めての私が桜の前で記念写真を撮ったのが昨日のこのように思い出されます。

あれから5年、皆さんは勉強に課外活動にと大きく成長した姿をみせてくれました。これから社会へ出て大変なことも多いでしょうが、大変な経験は、皆さん自身を大きく成長させるチャンスです。進学・就職とそれぞれの道に進まれても、また元気に活躍する姿を私たち教職員や後輩たちに見せてくださいね。

